

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成30年5月14日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自平成29年7月1日至平成29年9月30日）
【会社名】	ゼット株式会社
【英訳名】	ZETT CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 渡辺 裕之
【本店の所在の場所】	大阪市天王寺区烏ヶ辻一丁目2番16号
【電話番号】	(06)6779局1171(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員管理本部長 林 賢志
【最寄りの連絡場所】	大阪市天王寺区烏ヶ辻一丁目2番16号
【電話番号】	(06)6779局1171(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員管理本部長 林 賢志
【縦覧に供する場所】	ゼット株式会社東京支店 (東京都台東区浅草橋三丁目30番7号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成29年11月13日に提出した第69期第2四半期（自平成29年7月1日 至平成29年9月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式データ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第68期 第2四半期連結 累計期間	第69期 第2四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成28年 4月1日 至平成28年 9月30日	自平成29年 4月1日 至平成29年 9月30日	自平成28年 4月1日 至平成29年 3月31日
売上高 (百万円)	20,268	19,914	40,335
経常利益 (百万円)	143	282	364
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	115	206	282
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	79	366	206
純資産額 (百万円)	7,961	8,553	8,246
総資産額 (百万円)	20,334	20,670	20,862
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	5.90	10.56	14.44
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	39.2	41.4	39.5
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	1,309	652	1,015
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	2	35	33
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	263	226	352
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	3,700	3,748	3,359

回次	第68期 第2四半期連結 会計期間	第69期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成28年 7月1日 至平成28年 9月30日	自平成29年 7月1日 至平成29年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又 は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	0.90	1.66

(注)(省略)

(訂正後)

回次	第68期 第2四半期連結 累計期間	第69期 第2四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成28年 4月1日 至平成28年 9月30日	自平成29年 4月1日 至平成29年 9月30日	自平成28年 4月1日 至平成29年 3月31日
売上高 (百万円)	20,268	19,914	40,335
経常利益 (百万円)	143	282	364
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	115	206	282
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	79	366	206
純資産額 (百万円)	7,801	8,393	8,086
総資産額 (百万円)	20,334	20,670	20,862
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	5.90	10.56	14.44
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	38.4	40.6	38.8
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	1,309	652	1,015
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	2	35	33
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	263	226	352
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	3,700	3,748	3,359

回次	第68期 第2四半期連結 会計期間	第69期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成28年 7月1日 至平成28年 9月30日	自平成29年 7月1日 至平成29年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又 は1株当たり四半期純損失金額 (円)	0.90	1.66

(注)(省略)

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ192百万円減少し、20,670百万円となりました。これは主に、現金及び預金が389百万円、商品及び製品が279百万円及び投資有価証券が242百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,071百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ499百万円減少し、12,117百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が316百万円及び未払消費税等が129百万円減少したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ307百万円増加し、8,553百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が148百万円及びその他有価証券評価差額金が165百万円増加したこと等によるものであります。

(訂正後)

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ192百万円減少し、20,670百万円となりました。これは主に、現金及び預金が389百万円、商品及び製品が279百万円及び投資有価証券が242百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,071百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ499百万円減少し、12,276百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が316百万円及び未払消費税等が129百万円減少したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ307百万円増加し、8,393百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が148百万円及びその他有価証券評価差額金が165百万円増加したこと等によるものであります。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
(省略)		
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,185,742	8,869,275
短期借入金	266,089	175,384
未払法人税等	114,712	96,962
未払消費税等	165,465	36,290
賞与引当金	282,035	252,410
返品調整引当金	46,412	48,646
その他	565,279	632,751
流動負債合計	10,625,737	10,111,720
固定負債		
長期借入金	125,060	75,052
繰延税金負債	346,773	418,893
退職給付に係る負債	366,524	374,596
長期末払金	267,110	267,110
その他	885,685	869,681
固定負債合計	1,991,153	2,005,333
負債合計	12,616,890	12,117,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,100	1,005,100
資本剰余金	2,968,778	2,968,778
利益剰余金	3,527,749	3,675,755
自己株式	74,255	74,255
株主資本合計	7,427,372	7,575,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801,878	967,735
繰延ヘッジ損益	19,949	12,964
為替換算調整勘定	17,645	16,684
退職給付に係る調整累計額	20,741	19,146
その他の包括利益累計額合計	818,732	978,237
純資産合計	8,246,104	8,553,615
負債純資産合計	20,862,995	20,670,669

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
(省略)		
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,185,742	8,869,275
短期借入金	266,089	175,384
未払法人税等	114,712	96,962
未払消費税等	325,226	196,051
賞与引当金	282,035	252,410
返品調整引当金	46,412	48,646
その他	565,279	632,751
流動負債合計	10,785,498	10,271,481
固定負債		
長期借入金	125,060	75,052
繰延税金負債	346,773	418,893
退職給付に係る負債	366,524	374,596
長期末払金	267,110	267,110
その他	885,685	869,681
固定負債合計	1,991,153	2,005,333
負債合計	12,776,651	12,276,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,100	1,005,100
資本剰余金	2,968,778	2,968,778
利益剰余金	3,367,988	3,515,994
自己株式	74,255	74,255
株主資本合計	7,267,611	7,415,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801,878	967,735
繰延ヘッジ損益	19,949	12,964
為替換算調整勘定	17,645	16,684
退職給付に係る調整累計額	20,741	19,146
その他の包括利益累計額合計	818,732	978,237
純資産合計	8,086,343	8,393,855
負債純資産合計	20,862,995	20,670,669

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年5月11日

ゼット株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新田 東平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 城戸 達哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているゼット株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ゼット株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成29年11月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていない。